

## ■一般目標 (GIO)

咀嚼や発音など顎口腔系が果たす役割を理解するため、口腔や顎顔面を構成する歯や骨、筋、神経、顎関節など諸器官の形態と機能を修得する。

## ■到達目標 (SBOs)

- ・歯列、歯列弓および咬合彎曲を説明できる。
- ・頭蓋の骨の構造を説明できる。
- ・口腔周囲の筋を説明できる。
- ・顎口腔の神経支配を説明できる。
- ・顎関節の構造と機能を説明できる。
- ・口腔と口蓋の構造を説明できる。
- ・唾液腺の役割を説明できる。
- ・舌の構造と役割を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 口腔顎顔面解剖学(医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：水曜日 18:50~19:35

■オフィスアワー：木内 香 (kiuchi.kaori@nihon-u.ac.jp) 木曜日・16:00~17:00

■成績評価：定期試験(80%)と平常試験(20%)を前期と後期の合計で評価する。平常試験は解説を行いフィードバックする。

■注意事項：ノート、教科書、自然歯模型 B-ANA 3A (28S) を持参すること。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。授業時間内に平常試験を2回行う。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を行うので復習をすること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：木内香：歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を基に、歯科臨床に必要な基礎的事項を教える。

■関連教科：造形美術学(1年)、顎口腔機能学(1・2年)、口腔顎顔面解剖学実習(1・2年)、口腔顎顔面解剖学演習(1・2年)

## ■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 9月30日 木内 香	7. 歯列・咬合 1) 歯列 2) 歯列弓 3) 咬合彎曲 (教) pp. 102-104	・歯列と歯列弓を説明できる。 ・咬合彎曲を列挙できる。 ・切歯の咬合関係を説明できる。
第2回 10月7日 木内 香	7. 歯列・咬合 4) 隣在歯との関係 5) 上下歯列弓の位置関係 6) 切歯の咬合関係 7) 歯の植立 (教) pp. 104-109	・歯列と歯列弓を説明できる。 ・咬合彎曲を列挙できる。 ・切歯の咬合関係を説明できる。
第3回 10月14日 木内 香	8. 頭蓋の骨 1) 脳頭蓋骨 (教) pp. 112-117	・脳頭蓋骨の構造を説明できる。
第4回 10月21日 木内 香	8. 頭蓋の骨 1) 脳頭蓋骨	・顎口腔の神経支配を概説できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
	(教)pp. 112-120	
第5回 10月28日 木内 香	8. 頭蓋の骨 2) 顔面頭蓋骨 (教)pp. 120-126	・顔面頭蓋骨の構造を説明できる。
第6回 11月4日 木内 香	8. 頭蓋の骨 2) 頭蓋の全景 (教)pp. 127-135	・頭蓋の全景を説明できる。
第7回 11月11日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 1) 浅頭筋 (教)pp. 136-143 「平常試験」①, 解説	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・浅頭筋の位置と機能を説明できる。 ・第1回～6回の講義内容を再確認し、理解度を深める。
第8回 11月18日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 2) 深頭筋 (教)pp. 136-143	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・深頭筋の位置と機能を説明できる。
第9回 11月25日 木内 香	9. 口腔周囲の筋 3) 舌骨筋群 (教)pp. 136-143	・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・舌骨筋群の位置と機能を説明できる。
第10回 12月2日 木内 香	10. 顎関節 1) 顎関節の構造 2) 下顎の運動 (教)pp. 144-147	・顎関節の構造と機能を説明できる。
第11回 12月9日 木内 香	11. 口腔 1) 口腔の隣接器官 2) 口腔 (教)pp. 148-150	・口腔と口蓋の構造を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。
第12回 12月16日 木内 香	11. 口腔 3) 口蓋 4) 唾液腺 (教)pp. 151-152	・口腔と口蓋の構造を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。 ・唾液腺の役割と存在部位を説明できる。
第13回 12月23日 木内 香	11. 口腔 5) 舌 (教)pp. 152-156	・舌の構造と役割を説明できる。
第14回 1月13日 木内 香	11. 口腔 6) 咽頭と喉頭 (教)pp. 157-160	・咽頭と喉頭の構造と役割を説明できる。
第15回 1月20日 木内 香	後期講義のまとめ  「平常試験」②, 解説	・後期講義の内容について、総合的に理解することができる。 ・第7回～14回の講義内容を再確認し、理解度を深める。